

科目名<Subject>	計量経済学 <Econometrics>			
単位数<Credits>	4	配当年次<Years>	Ⅱ	後期
担当教員名<Name>	劉 慶豊 <Qingfeng Liu>		研究室番号<Office>	530
Office Hours	水曜日と金曜日の午前中 他の時間については事前メールで連絡してください。			

1. 授業の目的・方法<Course objective and method>

この授業は計量経済学の基礎知識を習得し、その上、データを利用して抽象的な経済理論の正当性について検証する計量経済学の方法と経済活動を分析するための計量経済学の方法を習得することを目的とする。講義の履修希望者が多人数の場合は講義を中心に授業を進めるが、少人数の場合は授業期間中に講義の他に数回Excel やEViews などの統計ソフトを利用したパソコンでのデータ分析の実習を行う。

2. 授業内容<Course contents>

①計量経済学とは何か

②データの性質：統計学の基礎知識の復習

③単回帰：線形回帰式の推定及び検定、最小2乗法の性質

④偏相関係数と回帰：3変数データの回帰分析

⑤多変数の回帰分析：推定、検定、ダミー変数、残差診断

⑥系列相関に関して

⑦不均一分散に関して

⑧構造変化の検定

⑨離散選択モデル

⑩同時方程式

⑪その他の高度なトピックの紹介

3. 使用教材<Teaching materials>

森棟公夫『基礎コース 計量経済学』新世社

4. 成績評価の方法<Grading>

基本的には中間試験と期末試験（各 100 点満点）の平均点で評価する。ただし、パソコンを利用したデータ分析の実習が可能な場合、二回の定期試験(80%)、及び実習の課題（20%）で総合評価する。

5. 成績評価の基準<Grading Criteria>

経済学科統一基準（シラバスの p. 206）を参照のこと。

6. 履修上の注意事項<Remarks>

統計学、経済統計学及び数理統計学の中の一つが履修済みまたは履修中であること。